気象庁
Japan Meteorological Agency

報　道　発　表

いのちとくらしをまもる
防　災　減　災

令和３年７月29日
地　震　火　山　部

諏訪之瀬島の噴火警戒レベルを２へ引下げ

本日（29日）11時00分に諏訪之瀬島の噴火警戒レベルを２（火口周辺規制）に引き下げました。引き続き、御岳（おたけ）火口から概ね１kmの範囲では警戒が必要です。

諏訪之瀬島の御岳（おたけ）火口では、令和３年６月下旬から７月上旬にかけて爆発が増加し、火口から１km付近まで飛散する大きな噴石が複数回観測されました。22日にも一時的に爆発が増加しましたが、その後、噴火活動は低下しています。その他の観測データにも火山活動の活発化を示す変化はみられていません。このため、御岳火口から概ね１kmを超える範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性が低くなったと考えられます。

これらのことから、本日（29日）11時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを３（入山規制）から２（火口周辺規制）に引き下げました。
しかしながら、現在も噴火活動が継続しており、御岳火口から概ね１kmの範囲では、大きな噴石が飛散する可能性があります。

御岳火口から概ね１kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。
風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。
地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

問合せ先：地震火山部 火山監視課　中村
電話　03-6758-3900（内線　5184）